

研修レポート



文教厚生常任委員会編

5/8 ICTに関わるセミナー

場所：東京都内田洋行 新川オフィス

「ICT－電子黒板とタブレットを使い、
教育効果を向上」

5月8日、文教厚生常任委員会は、東京都中央区にある内田洋行教育総合研究所・新川オフィスを訪ね、教育ICTの見学・研修を行いました。大型の電子黒板では、音声を聞いたり、動画も見られます。生徒のタブレットから電子黒板や先生のタブレットに書き込みができ、内容を共有できます。



研修に来ました!!

箕輪町議会

研修内容

「議員定数・議員報酬の見直し」

5月23日に長野県箕輪町議会の議会活動活性化委員会7名が研修に来ました。内容は議員定数、議員報酬の見直しです。当時議員だった南議長以下4人の議員で対応し、活発な意見交換をすることができました。
内容は、以下の通りです。

- ①議員報酬の見直しに至った経緯
- ②議員報酬の算定方法
- ③見直しに伴う意見交換会
- ④定数見直しの検討
- ⑤今後の課題について

榛東村議会では、平成24年第4回定例会において「議員定数条例の一部を改正する条例」及び「議員報酬の見直しに関する要望」が可決されました。それを受け、村は報酬審議会を開き、その答申を受け、平成25年第1回定例会で議員報酬改定の条例改正案を提出し、可決されています。



学んで生かす

議長編

5/28 平成30年度町村議会議長・副議長研修会

場所：東京・東京国際フォーラム



第1部「町村議会議員の議員報酬等のあり方 中間報告(全国町村議会議長会)」
第2部「町村議会のあり方に関する研究会報告書(総務省)」

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭 氏

～先駆議会の取り組みを進めることが重要～

報告書を作成した両研究会の委員である江藤氏によると、現状の町村議会議員の報酬額は、「首長の給与の30%」が足かせになっているということです。しかし、減額の期限切れも含めて、約3割の議会が報酬を増加させている状況もあります。

全国町村議会議長会の調査によると、1990年には「町村議会議員はボランティアで良い」という答えが73%でしたが、2011年には「ボランティアと同じで良いとは思わない」が80%と変わりました。また、議員報酬が20万円以下の町村では、選挙が無投票である割合が高く、30万円を越えた町村の場合は、1件のみが無投票、さらに、女性議員の割合は、議員定数が少ないほど低くなっているそうです。

また、2部では、議員のなり手確保に向けた報告書では、少数の専門議員による「集中専門型」、多数の非専門議員による「多数参加型」の2つが示され、現行制度を含めた3つの制度から選択できるようになるものです。江藤氏は、報告書の示した2つの議会ではなく、現行の議会の住民自治を進めるために、先駆議会が取り組んできた、第3の道を行っていくことが大事であり、そのための法改正をした方が良いと指摘しました。

議会改革は新たなステージ、第2ステージにきており、なり手不足等の新たな課題に直面しています。まずは、議会議員の魅力を向上させ、それを住民に発信し、先駆議会が取り組んでいることを進めていくことが重要であると、改めて今後の議会のあり方を考えさせられました。



5/31

群馬県町村議会議長会の臨時総会及び議長・事務局長研修会

場所：みなかみ町

「議長の役割と責務」

公立大学法人 新潟県立大学 国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

田口氏は、議員のなり手を増やすには、地域を支える自治をやってくれる人を増やす必要があり、身分に基づかず、普通の住民が議員になれることが大事であり、それが民主主義であるとお話くださいました。それには、議会のことがわかるようにすることが重要であり、中学生までの間に町や村のことを教育し、興味を持ってもらうために、子ども達を表彰し、議長室で話をするを提案いただきました。議長の役割、責務では、議長の活動をしっかり発信することや同じ問題を抱える市町村と連携し、国に働きかけることなど、議会の代表としての役割を再認識しました。

「達人リポーターが伝授する最強コミュニケーション術・プレゼン術」

フリーアナウンサー 庄司麻由里 氏



情報を引き出すコミュニケーション術には、第一印象が大事であり、聞き上手になることで会話ははずむと「伝わる話し方」を出席者と実践しながら教えてくださいました。中でも、政治家言葉の専門用語を誰でもわかるように話すことが大事だと思いました。